出雲北陵月報

No. 437
令和４年１月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

寅の如く

高校教頭　松本克己

新年明けましておめでとうございます。令和４年度の幕が上がりました。今年はどんな年になるのでしょう。新型コロナウイルス感染症と人類との闘いは、３年目を迎えます。今年の３月に卒業予定の３年生が１年生の冬から、永い闘いが続いています。新年が明けてすぐオミクロン株の変異株が大流行し、沈静化していた感染者数が、昨年の第５波を上回る勢いで増え続けています。まだまだ先の見えない不安を抱えながらの一年となるような気がします。本年度の３年生は様々なことを我慢し、辛い思いをしてきました。今年こそ平常に戻れることを期待したいものです。

さて、今年の干支は寅です。虎は、ライオンと並ぶ力強い動物です。東洋では「強さ」「権威」の象徴とされてきました。虎を用いた故事・慣用句・ことわざもたくさんあります。最も有名なものは「虎の威を借る狐」でしょうか。その他にも、「虎穴に入らずんば虎児を得ず」・「虎の子」・「虎の巻」などがあります。私が個人的に好きなものは「虎は死して皮を留め、人は死して名を残す（獣の王者の虎は死んでのち立派な毛皮を残すように、人は死んだ後に優れた名を残すように努力せよ）」という言葉です。人はどう生きるべきかということを考えさせられ、若い時からよく口にしました。

また、虎はその昔、その勇敢な姿と虎の骨を粉末にした物が病気の特効薬として使われたりしたことから中国で魔除けの神聖な動物として信仰されているようです。日本でも、こどもの日の魔除けに張子の虎を飾るのはそのためです。また、干支の虎は「寅」と書きますが、「寅」という字は「演」からきているといわれています。「演じる＝人の前に立つ」という意味や、「延」から「延ばす」という意味を表しているそうです。このような「人前に立つ」ことや「延ばす」という意味から、「寅年」は芽を出したものが「成長していく」「象徴が生まれる」年といわれています。今年は、新型コロナウイルス感染症を克服する象徴的な薬品が生まれて、災いが起こらず、平穏な生活に戻れることを願ってやみません。

辛い現実は目の前にたくさんあります。しかし、寅の如く、時代の試練に負けず力強く未来に大きな夢を抱いて歩き続ける出雲北陵生であって欲しいと思います。私たち教職員も皆さんとともにあり、手を携えて日々精進していく覚悟です。笑顔の一年であったと振り返られるような、そんな一年にしましょう。

美術部

第54回島根県高校美術展

時　12月23日～26日
於　島根県民会館（松江市）

コロナ禍のため出品点数が制限される中、全県から324点の応募があり、本校からは25点を出品し24点が入選した。そのうち小林沙輝（2-5北澗）の油絵作品「出口」と山根麻由美（2-6三出）の映像作品「ENISHI-PROJECT」が全国大会推薦作品枠7点に選出され、来年度の全国高総文祭東京大会に出品されることとなった。3年連続で2作品が推薦出品されるのは本校では初めてであり、嬉しい快挙となった。

（顧問　飯塚康弘）

「出口」小林沙輝

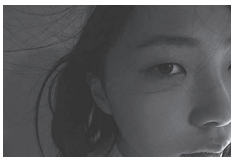
「ENISHI-PROJECT」山根麻由美

写真部

第43回よみうり写真大賞
本校史上初の「入選」受賞！

第43回よみうり写真大賞「中高生フォト」部門において、藤原香織（3-3大社）の作品「14歳の瞳」が「入選」を受賞した。このコンテストは全国屈指の優秀作品が集まる非常にレベルの高い大会である。この入賞に関して読売新聞から取材依頼があり、昨年12月28日付の新聞で記事を掲載いただいた。これは本人が3年間積み重ねてきた努力が実った結果であると同時に、日頃から支えてくださっている皆さんのお陰である。今後とも本校写真部の応援をよろしくお願いします。

（顧問　村上　学）



「14歳の瞳」藤原香織

卓球部

第49回全国高等学校選抜卓球大会
中国地区予選会
中国選抜5年連続6回目の優勝！
全国選抜出場決定！

時　12月17～19日
於　鳥取県民体育館

【男子団体】

〈予選リーグ〉
本校　3－0　米子西（鳥取）
本校　3－0　宇部工業（山口）

〈決勝リーグ〉
本校　3－0　武田（広島）
本校　3－0　倉敷工業（岡山）
本校　3－2　松徳学院（島根）
本校　3－0　明誠（島根）
本校　3－0　近大福山（広島）
本校　3－0　鳥取敬愛（鳥取）
本校　3－0　関西（岡山）

優勝

5連覇を果たした団体戦メンバー

○大会総評

予選リーグ、決勝リーグともに全勝で5連覇を達成することができた。レギュラー選手だけでなく、ベンチメンバーもチームの勝利のために全力を尽くし、まさに「全員卓球」で掴んだ優勝であった。山場と考えていた松徳学院戦では、戦前の予想通りラストまでもつれる厳しい試合となったが、本校らしい粘り強い卓球で乗り切ることができた。3月に栃木県で開催される全国選抜大会でも上位に進出できるように頑張りたい。

（顧問　古瀬泰之）

卓球部

令和3年度全国高体連卓球専門部冬季強化合宿兼海外遠征二次選考会

時　1月4～7日
於　郡山総合体育館

〈参加選手〉杉浦大和(2-2陵北)
【予選リーグ】4勝10敗(11位)
【順位リーグ】3勝2敗(全体の33位)

○大会総評
　12月に開催された一次選考会を1位で突破した杉浦が二次選考会に出場した。結果は44人中33位という悔しい結果に終わったが、最後まで全力を尽くした。今回の合宿で明確になった課題を日々の練習で克服していきたい。
（顧問　古瀬泰之）

ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニスインドア選手権

時　12月18日
於　鹿島総合体育館

優勝　木村蔵人(2-2斐川東)・岩崎遥平(2-5出一)
3位　川角悠太(2-1大社)・青木快生(2-4出南)
ベスト8　原　優翔(2-1斐川東)・堀江結太(1-3出一)

○大会総評
　新人戦の上位32ペアが出場する大会に本校からは5ペアが参加した。年内最後の大会で結果を出すことができ良かったと思う。中国大会に向けて、しっかりと準備していきたい。

第12回中国高等学校ソフトテニス新人大会

時　1月14～16日
於　福山市総合体育館(福山市)

リーグ　2勝0敗　1位通過で決勝トーナメントへ

本校　③－0　市立福山(広島)
本校　②－1　倉敷工業(岡山)

○大会総評
　新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、無観客での開催となった。優勝を目指し、年末から遠征を重ね臨んだ大会であったが、初日、予選リーグを全勝で抜け、決勝トーナメント進出が決定した。止むなくトーナメントは不戦敗となったが、これまでの準備を含め、夏に繋がる貴重な経験となった。

【団体メンバー】
木村蔵人、岩崎遥平、青木快生、髙橋拓眞(2-3久米)、陰山晃成(2-2斐川西)、川角悠太、江角虎哲(2-2河南)、堀江結太
（顧問　佐々木雄志）

男女バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール新人大会

時　1月14～16日
於　松江市総合体育館

【男子】
1回戦　シードにより不戦勝
2回戦　本校　102－55　益　田
準々決勝　本校　111－72　開　星
準決勝　本校　77－70　松江東
決　勝　本校　0－20　松江西
（途中棄権により不戦敗）
準優勝　ベスト5　金森崇史(2-4出二)

○大会総評
　本校は2回戦から出場し、準々決勝まではエントリーメンバー全員出場と危なげなく勝ち上がり、準決勝の大一番、松江東高校との試合に競り勝った。2年連続の決勝進出を果たしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で試合を棄権することになり、決勝戦を選手たちとともに戦いきることはできなかった。しかし、この悔しさを胸に県総体では更に成長したチームで戦えるよう、日々の学校生活や練習から多くを学び蓄え精進していきたい。
　最後になりましたが、理事長先生、校長先生をはじめ、学校教職員の皆様、保護者の皆様、学園に携わる全ての皆様に応援していただき感謝致します。お世話になりました。（顧問　手島幹人）

【女子】

時　1月14～16日
於　鹿島総合体育館
松江市総合体育館

2回戦　本校　105－31　浜　田
準々決勝　本校　52－82　松江商
五位決定戦
　本校　101－53　三刀屋

○大会総評
　準々決勝の松江商戦では第二Q以降集中力が途切れてしまい、相手チームに思うようにプレイされてしまった。精神面のタフさと得点力の面で課題が残る試合であった。今後総体までの期間でこれらの課題を改善していきたい。
（顧問　篠原勝利）

弦楽クラブ

第20回いずも新春コンサート

時　1月9日
於　ビッグハート出雲

　音楽コースの中林桃子(2-6北陵)が、市内の高校に通う同級生とデュオで標記コンサートに出演した。

【感想】
　デュオをしたのは初めてのことでソロで弾くのとはまた違う難しさがありました。2人で呼吸を合わせたり、弾き方や音楽の方向性を揃えたりなど大変な面もありましたが、とても楽しむことができました。このコンサートには音楽大学で学んでいる人や、プロとして活躍している方が出演されており、直近で演奏を聴くことができ、とても勉強になりました。
　中林桃子

吹奏楽部

第45回全日本アンサンブルコンテスト県大会

時　12月19日
於　石央文化会館(浜田市)

　昨年度の大会から各校1チームの参加となり、今年度は本校からフルート4重奏が参加した。本番では美しい音色で素晴らしい演奏を披露し、会場を魅了した。
　結果、島根県代表として、2月に周南市文化会館で行われる中国大会への出場権を獲得した。
　中国大会では、更に質の高い演奏ができるよう精進していきたい。

・フルート4重奏　金賞・県代表
カプリッチョ／朴守賢
（顧問　竹内康貴）

ウインターコンサート

時　12月25日
　昼の部　14時　開演
　夜の部　18時30分開演
於　出雲市民会館大ホール

第15回目となる「ウインターコンサート」を開催した。本公演は、吹奏楽部の1年を締めくくるコンサートであり、3年生にとっては最後のステージとなる。このコンサートに向け、生徒のみならず保護者会も一丸となり、演奏会の成功を目指し練習と準備を重ね本番に臨んだ。

1部の吹奏楽ステージは、本年度の吹奏楽コンクールやマーチングコンテストで演奏した曲目を中心に構成した。本年は演歌歌手の出雲光一さんにもご出演いただき、華やかなステージとなった。

2部では、県音楽コンクールで第1位を獲得した3年生のソロ演奏とフルートアンサンブルを行った。ソロ、アンサンブルともに立派なステージであった。

3部は「アラジン」をテーマにステージドリルを行った。部員のみならず、保護者の皆さんのご協力で、スペクタクルなショーとなった。

部員たちは万感の思いを込めた演奏を披露し、素晴らしいコンサートとなった。当日は多くのお客様にご来場いただき、盛会裏に終えることができた。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも地域に愛されるバンドをめざし、変わらず精進していきたい。

（顧問　竹内康貴）

合唱部

第25回クリスマスコンサート

時　12月25日
於　ビッグハート出雲

12月25日に合唱部恒例のクリスマスコンサートを行った。プログラムは今年度の全日本とNHKのコンクール曲を並べた1部から、定番のクリスマスソングを歌う4部までの構成とし、2部の「北陵紅白歌合戦」では、テレビCMで一度は耳にしたことがあるであろう「積水ハウス」を始め、懐かしの「青いベンチ」などを男女交互に披露した。歌だけでなく踊りも加えた北陵オリジナルの歌合戦となり、かの有名なNHK紅白歌合戦に負けじと熱戦を繰り広げた。また、3部ではミュージカル「マンマ　ミーア！」から抜粋して7曲演奏した。テレビなどでもよく耳にする曲もあり、会場は盛り上がっていた。

コンサートまで生徒たちは限られた時間の中での準備となり、苦戦していた様子もあったが、今できる最大限のことを行い本番を迎えた。

コロナ禍でのクリスマスとなり、街は自粛モードであったが、当日は多くの方にご来場いただくことができた。こうして無事にコンサートを終えることができたのも日頃から支えてくださっている地域や保護者の皆様のお陰です。この場をお借りしてお礼申しあげます。有難うございました。

（顧問　齋藤茉耶花）

令和3年度島根県児童生徒学芸顕彰式

時　12月27日
於　県庁（文化表彰）
　　サンラポーむらくも（学芸顕彰）

令和3年度島根県青少年芸術文化表彰並びに令和3年度島根県児童生徒学芸顕彰を受賞

【吹奏楽部】

標記の式が行われ、吹奏楽部は全日本マーチングコンテスト全国大会で金賞を受賞したことにより、島根県青少年芸術文化表彰を受賞。加えて全日本吹奏楽コンクール全国大会で銀賞を受賞したことにより、島根県児童生徒学芸顕彰を合わせて受賞した。

式には、吹奏楽部部長の下高呂芽衣（3-5安佐）ら4名が出席し、県知事より芸術文化表彰を、教育長より学芸顕彰を授与された。

この賞に甘んじることなく、更に飛躍できるよう変わらず精進していきたい。

（顧問　竹内康貴）

【合唱部】

全日本合唱コンクールとNHK全国学校音楽コンクールの両全国大会に出場したことにより、教育長より部長の杉森さくら（3-6浜山）に学芸顕彰が授与された。このような賞がいただけたのも日頃から応援してくださる方々のお陰であり、心より感謝申しあげます。

（顧問　齋藤茉耶花）

【写真部】

団体・個人両方での顕彰

「写真甲子園2021」での全国3位入賞、全国高校総合文化祭和歌山大会での全国5位入賞を称えて、島根県から顕彰を受けた。本校からは団体代表として大江日向人（3-4陵）、個人では高橋友（3-3平田）が出席した。

非常に有難いことである。令和元年度以来の2年ぶり2回目の顕彰となった。日頃から支えてくださっている方々へ改めて感謝したい。

（顧問　村上　学）

一斉書写

1月12日(水)、今年度3回目となる「一斉書写」を実施した。前日が始業式で、一心不乱に書写することにより、気持ちを整え、新年に向かう決意を新たにしたと思われる。生徒の活躍に期待したい。

創立者　水谷キワ先生　命日墓参

本校創立者水谷キワ先生の命日前日の1月15日(土)、生徒を代表して、中学新生徒会会長荒瀬翼（中2津）、高校新生徒会会長原田惺士朗（2-4平田）ら5名で大念寺を訪れ墓参した。雪が多少残っていたものの、小春日和の中、先輩方が築いた100年を越える伝統の継承と生徒会の更なる発展を墓前に誓った。

中学校

第3回　校外講師特別講座

時　12月21日
於　中高棟ホール

二学期末保護者会に併せ、元公立中学校校長の岩﨑巖先生をお招きし、「わくわく　どきどき　心地よく～出逢いに感謝～」と題して講演会を開催した。岩﨑先生は目が不自由になったことにより、周りの人たちへの感謝の気持ちやお互いを思い合う心の大切さに一層気づいたこと、更に、人々との軌跡の出逢いを通して学んだことなど、自己の体験に基づいた深い講話とハーモニカ演奏をしていただいた。より前向きに生きていく勇気を得た。

◆◆ご寄付のお礼◆◆

左記のとおり中学校へ図書券四万円分のご寄付をいただきました。厚くお礼を申しあげます。

記

公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部
支部長　河原　一朗　様

作品と研究

中学校書初め作品より

毎年、中学校では冬休み明けの書写の時間に書初めを実施しています。生徒一人ひとりが今年の目標や抱負、大切にしたい言葉を決め、行書で一生懸命書きました。一年生は初めての行書でしたが、上手く書けたと思います。では、各クラスの作品の一部を紹介します。

作品①

「克　己」

永井　初樹（中1塩冶）

私がこの「克己」にした理由は二つあります。一つ目は、この漢字の意味通りで、今年の自分に打ち勝つためです。もう一つの理由は先輩として、新しく入ってきた後輩をしっかり引っ張っていけるような自分になるためです。他にも「全力」や「進歩」などたくさんの良い言葉がありましたが、一番しっくりきたのはこの言葉でした。大切にしたい言葉が見つかって良かったと思っています。

作品②

「成　長」

矢田　秋翔（中2大津）

私は二つのことで成長したいと思っています。まず一つ目は、部活動のバスケットボールです。特にシュート成功率を上げたり、ハンドリングの技術を上げたりして、いい選手になれるよう成長したいと思います。二つ目は、体です。身長を175cmまで伸ばし、今よりもジャンプ力をつけたいと考えています。そして、バスケットボールのリングに届くくらいに成長したいと思います。このようなことから「成長」という言葉を選びました。

作品③

「邁　進」

塩野　莉菜（中3塩冶）

この言葉を選んだ理由は、今やるべきことをはっきりと持って、そこに向かって邁進していきたいと思ったからです。「時は金なり」と言うくらい時間は大切ですが、時間は有限なので、一つひとつの短い時間を有効に使って生きたいと考えています。勉強だけではなく、人との思い出も沢山作って、残りの中学校生活やこれから始まる高校生活も良いものにしたいです。

作品④

「闘　魂」

内藤　亮輔（中3陽北）

この言葉を選んだ理由は「闘魂」という言葉には、「闘い抜こうとする激しい意気込み」という意味があり、受検を控えた自分達に合っていると考えたからです。

また、この言葉の漢字の使い方として、「戦う」ではなく「闘う」という書き方になっていて、勝ち負けを争うというよりも、困難を乗り越えるという精神的な意味での「闘い」に勝ちたいと思ったからです。

作品⑤

「勇　敢」

土江　華奈（中3平田）

今年、私は高校生になります。一年目は、沢山大変なことがあると思います。この熟語には、「勇気があって危険や困難を恐れない。」という意味があります。人間関係を作ることや部活動と勉強の両立など、逃げ出したいと思ったときこそ、勇敢に、諦めずにやり遂げたいです。

また、高校生は大人に大きく近づきます。社会に出た時、困らない様に嫌なことも最後まで、積極的に取り組んでいきたいと思います。

作品⑥

「朝　朗」

山根　朔弥（中3西野）

この漢字の読み方は「あさぼらけ」で、意味は「夜明け、朝の明るくなるころ」です。中学生としての生活は今年の三月までしかありません。そこで、中学校生活最後のひと月と高校生活がもうすぐはじまるということを一日の中で例えると夜と朝の間であると考えました。新しい高校生活を楽しみつつ、それまで送っていた中学校生活での教訓を生かして頑張っていこうという思いで、この言葉を選びました。

今月の1枚

「ショッピングバッグのデザイン」

岩原　舞子（2-6松）